

## 地域おこし協力隊通信 (No. 19) 種子島、中種子町で妄想してみた

昨年の5月に町長から地域おこし協力隊委嘱の辞令交付を受け、映像での情報発信に従事して以来、およそ1年が経ちました。さて、この1年間、中種子町での仕事や生活を通して、ある妄想がふつふつと沸いてきましたので、この紙面をお借りして、暴露してみたいと思います。これは大妄想ですのでナナメ読みしてください。

【特化】サーフ&ファームアイランド種子島の拠点に中種子町。

【目標】頻繁に訪れたい人気の街に私たちは住んでいる、と思えること。

【理念】環境破壊しないで維持と継続ができる地域づくり。

【サーフ妄想】①サーフアイランド種子島の法人化②サーフポイントの維持として人工リーフ\公園\駐車場\コテージ\カフェ\サーフ総合案内所などの設置③サーフイン専門学校の開設④サーフイン留学制度化  
【ファーム妄想】①滞在施設付き貸し農園、農家体験型修

学旅行の誘致と整備(特産品の加工販売、調理の体験含む)  
②休日利用の収穫支援⑤6次産業事業化(廃棄安納芋でスイートポテト、サトウキビからラム酒、廃棄唐芋から難消化性デキストリンの生成など)⑥地産地消農家レストラン(おばあちゃんのランチ)

【必要なサポート】①サーフィン、農業、気象情報番組などを制作するケーブルテレビ(ネットテレビ)局開設②世界最古の落とし穴のある立切遺跡の国の重要文化財指定獲得と立切遺跡ミュージアム建設。世界最古の町「なかつたね」

を世界発信③約7300年前の噴火で九州南部の縄文文化を滅ぼした喜界カルデラを監視できる観察公園を坂井の山頂に設置④地産廃棄物の新リサイクルで資源を生産。動物の糞尿をわずか4日で堆肥に変える高速原生微生物発酵ERSシステムの導入。

以上、妄想にはお金がかからないので楽しいですね。今年度は定住のための手段を妄想をしてみたいと思います。

(山村)

## 魅力的な農業経営を目指して 家族経営協定調印式

家族で営む農業について、経営の方針などを取り決め、魅力的な農業経営を目指すための家族経営協定調印式が、3月14日に中央公民館であり、町や県の関係者が見守る中、長谷集落の葉棚さゆりさん、将崇さん親子が、協定書に調印をしました。

将崇さんは、「家族でこれまで以上に協力し、農業を頑張りたい」と述べました。

なお、この協定により、農業の各種制度で、様々な便宜を受けることができます。



前列左から葉棚将崇さん、葉棚さゆりさん

## 種子島空港で記念イベント

### JAC種子島・鹿児島線就航60周年



乗客をエプロンで出迎え

日本エアコミュニケーションズ(JAC)の種子島・鹿児島線就航60周年を記念して、3月9日に種子島空港で記念イベントがあり、同社や空港、観光協会、町の関係者らが、乗客への地元特産のお菓子の配布や、記念の横断幕を掲げて、60年の節目を祝いました。

同路線には、1958年に東亜航空が就航。以降、東亜国内航空、日本エアシステムを経て、現在に至ります。